

第2期

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 関連事業（令和6年度）

事業名	ページ
子ども医療費支給事業	1
第2子以降保育料無料化事業	2
小中学校給食費の補助事業	3
3歳から5歳児の保育所等副食費半額補助事業	3
0歳児選べる定期便事業	4
保育所等での使用済み紙おむつの保護者持ち帰り廃止事業	5
ロボット・ブロックプログラミング教育事業	6
都市NEWS事業（都市計画マスタープラン等施策推進事業）	7
津島Next Move!事業（津島駅周辺まちづくり事業）	8
幹線道路整備事業（橋詰又吉線・昭和見越線改良事業）	9
地方創生健幸ウォークブル事業	10
スポーツ施設整備・利用促進事業	11
スポーツ推進計画策定事業	12
消防車両整備事業	13
定住促進事業	14
神守地区公園整備事業	15
天王川公園照明整備事業	16
婚活イベント事業	17
子どもの学習・生活支援事業	18
教育支援センター事業	19
就学援助事業	20
小中学校屋内運動場長寿命化事業	21
津島駅東側駅前広場整備事業	22

耐震性貯水槽整備事業	23
防災無線整備事業	24
耐震促進事業	25
空家対策事業	26
基幹相談支援センター事業	27

18歳までの子ども医療費の入院・通院 ともに**完全無料化**を継続し、子育て世 代を支援します

予算額 3億158万1千円【継続】

津島市では、現在、子育て世代の一層の支援を図るため、所得制限なく18歳までの子ども全員の医療費を入院・通院ともに完全無料化しております。

今後も子育て世代のより一層の支援を図るため、引き続き事業を実施してまいります。

子ども医療費支給事業

- 1 対象者
7,166人
- 2 県内の実施状況
23市町村（令和6年1月1日現在 津島市と同等の実施状況）



子育て世代を全面応援！！

第2子以降（0～2歳）の保育料を完全無料化！！
（所得制限や兄弟姉妹の年齢制限なし）を継続します。

予算額 3,696万2千円【継続】

多子世帯の経済的負担軽減を図るため、保育所・認定こども園等の第2子以降の保育料を完全無料化します。

○ **保育所等の第2子以降完全無料化事業**

<対象>

保育所、認定こども園等に入園している市内在住で保護者が扶養する子どもの上から数えて2人目以降

<園児1人あたりの保護者負担軽減見込額（年額）>

0歳から2歳 48,000円から624,000円程度



子育て世代を全面応援！！

令和5年度に引き続き令和6年4月から小中学校給食費、 保育所・幼稚園・認定こども園等の副食費を『支援』します

予算額 2億2,757万円【継続】

子育て支援とエネルギー価格・食料品価格等の物価高騰による保護者の経済的負担軽減を図るため、小中学校の給食費の完全無料化、保育所・幼稚園・認定こども園等の副食費の半額補助を実施します。

○ 学校給食費完全無料化事業（学校教育課） 2億361万1千円

<対象>

市内小中学校に在籍する全児童及び全生徒
約3,900人

<完全無料化期間>

令和6年4月から令和7年3月分まで

<児童生徒1人あたりの保護者負担軽減見込額>

年間 小学生 約51,000円

年間 中学生 約54,000円



○ 保育所等副食費半額補助事業（子育て支援課） 2,395万9千円

<対象>

保育所、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業所、事業所内保育所及び認可外保育施設に入園している市内在住の3歳から5歳児までの園児
約800人

<半額補助期間>

令和6年4月から

<園児1人あたりの保護者負担軽減見込額>

年間 約29,000円



子育て世代を全面応援！！

0歳児の家庭に市職員が訪問し おむつ等の子育て用品を無料でお届けします

予算額 565万5千円【継続】

赤ちゃんの健やかな育ちや不安、心配事がないかなど育児相談等で寄り添い子育てを支援するため、0歳児の家庭に市職員が訪問し、紙おむつ、おしりふき、ミルク、離乳食から選択していただいた子育て用品を3回無料でお届けします。

○ 0歳児選べる定期便事業

<対象>

市内在住の0歳児(生後2か月から1歳になるまで)を養育する保護者

<お届けする子育て用品>

1人あたり総額約15,000円

<訪問回数>

3回(生後2か月、6か月、10か月)



子育て世代を全面応援！！

保育所等での使用済紙おむつの保護者持ち帰りの廃止を推奨し、園での処分費用の一部を市が補助します

予算額 157万9千円【継続】

保育所等に子どもが通園している保護者の負担軽減を図るため、保育所等における使用済紙おむつの保護者持ち帰りの廃止を推奨し、園での処分費用の一部を市が補助します。

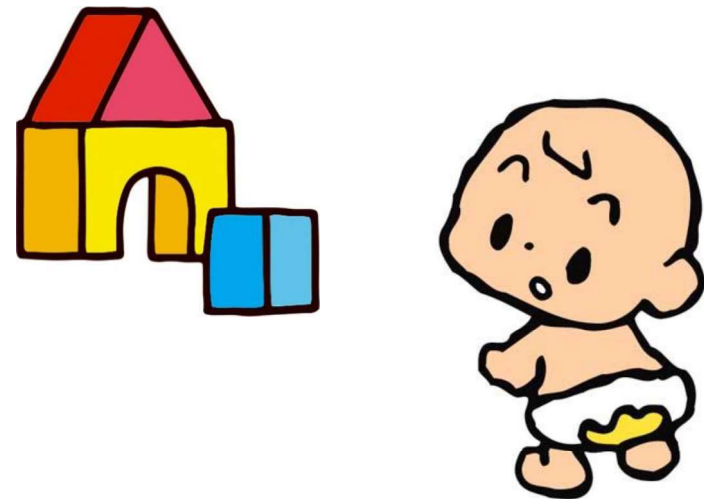
○ おむつ処分費補助金

<対象>

市内の保育所、認定こども園、小規模保育事業所

<補助基準額>

0～2歳児の在籍園児1人あたり約5,000円（年額）



プログラミング大会 (TPPコンテスト) を開催します！！

予算額 54万7千円【新規】

デジタル田園都市国家構想推進交付金の実施計画に基づき実施してきたプログラミング教育の集大成。
学校間を越えてプログラミング力を披露し合うプログラミング大会（TPPコンテスト）を開催します。

○プログラミング大会（TPPコンテスト）

開催日時：令和6年8月

参加対象：市内12小中学校の児童生徒

※ 津島市では、日本初となる規模で、プログラミング可能な人型ロボットやブロックを市内全小中学校に導入し、プログラミング教育を推進しています。

★TPP=津島プログラミングプロジェクトの略

【予算内訳】

- ・ 報償品 7万円
- ・ 消耗品費・器具購入費 34万円
- ・ 手数料・借上料（バス）13万7千円



市内4中学校によるプログラミング大会の様子（令和5年8月）



青塚駅周辺の駅前広場等の整備に向け 地域住民との対話を進めます

予算額 599万5千円【継続】

当市の北の玄関口となる青塚駅周辺について、駅の近接性を活かし、若者から高齢者まで幅広い世代がコミュニティを育み、発展できる居住環境の形成を図ります。

市内GDP上昇に向けた「津島NEWS構築」事業

・北の玄関口「青塚駅周辺」土地利用構想策定 599万5千円

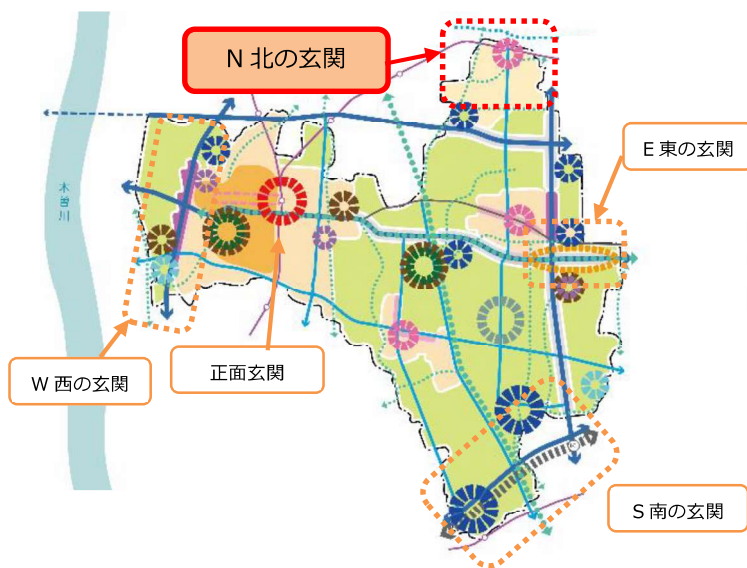
快適で住みよい居住環境の実現に向けて、愛知県の道路事業計画に併せ駅前広場や踏切拡幅に関する協議のほか、市街化調整区域内の土地利用策として地域住民との対話を行います

<令和6年度実施内容>

駅前広場基本計画案修正
周辺道路予備設計
勉強会開催
地区計画案修正
関係機関協議

<参考：令和5年度実施内容>

駅前広場基本計画案作成
踏切周辺の交通量調査
周辺道路予備設計
地権者意向調査
地区計画案立案



【つしまゲートウェイプロジェクト】



【北の玄関の形成イメージ】

第2弾、第3弾の賑わい拠点の整備に向け 民間事業者を公募・選定します

～暮らしの質が高まる正面玄関に向けた
「津島Next Move！」事業～

予算額 7,746万6千円【継続】

(うち、1,649千円は事務的経費)

- ① 【歴史自然核】津島神社周辺エリア民間活力導入委託料
(旧わざ・語り・伝承の館跡地等の利活用) 656万7千円

第1弾の天王川公園 Park-PFI に併せ、**第2弾**として神社周辺にある市有地を民間に貸付を行う契約書(案)等の作成や募集選定を行います。選定後、民間資金やノウハウにより飲食店・売店等の整備運営を行い、天王川公園も含め賑わいの相乗効果を高めていきます。

- ② 【歴史自然核】シビックプライド醸成拠点民間活力導入委託料 等
(旧いちい信用金庫天王通支店等の利活用) 1,644万4千円(3事業分)

市民が集い交流できる拠点のほか、既存の観光交流センターを一体にした緑溢れるパティオ等の広場の拠点整備に向けて、設計・施工・運営を一括して実施(DBO方式)する民間公募及び選定を行い、**第3弾**としてシビックプライドを育てていきます。また、周辺にある空き家・空地を取得に向けて不動産鑑定評価等を実施します。

- ③ 【交流・生活核】津島駅周辺エリアマネジメント推進委託料等
(空き地等の利活用対策を含む社会実験費用、景観計画策定等)

3,744万8千円(5事業分)

都市のスポンジ化対策としての賑わい作りや、地域の暮らしや観光振興を支える新交通の検証として、官学連携等により天王通り周辺でグリーンスローモビリティの実証実験を行います。また、景観計画の策定等、地域の価値と生活の質を向上させる取組みを進めます。

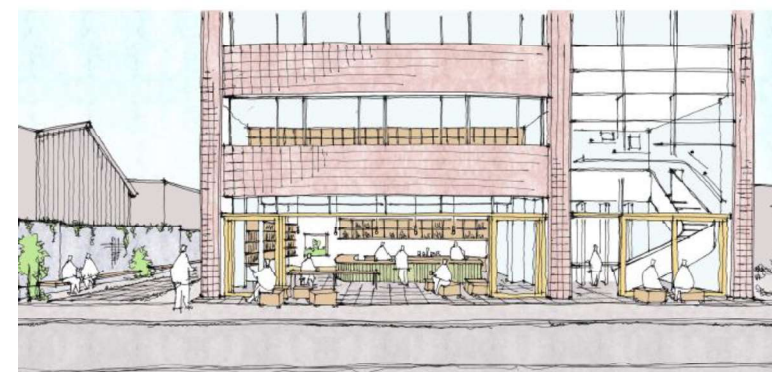
- ④ 【都市核】津島駅東側用途地域変更図書作成委託料等
(駅東側地区の用途見直し天王通り線の都市計画道路見直し)

1,535万8千円(3事業分)

市の正面玄関として、駅近接性を活かした快適な住環境の創出や高い人口密度の集積に向けて、用途地域の変更のほか土地の高度利用に資する施策を導入していきます。また、都市計画道路である天王通り線の見直しや無電柱化の検討のほか、必要な都市計画変更の手続きを進めます。



【正面玄関 ゾーニング図】



【シビックプライド醸成拠点 整備イメージ図】

橋詰又吉線の早期完成に向けて 事業を推進していきます

予算額 1億1,030万9千円【継続】

都市計画道路橋詰又吉線を整備し、天王川公園や津島神社へのアクセス向上、来訪者の回遊性・安全性を向上させるなど、幹線道路を整備します。

道路整備事業（都市計画道路橋詰又吉線の整備）

<工事期間>

令和2年度着手、令和6年度完成予定

<工事内容>

整備区間 L=210m

用地買収面積 1,940 m²

令和2～5年度の事業費 約7億4,100万円

用地取得進捗率 令和5年度末実績 97.32%

令和6年度予定 100.00%

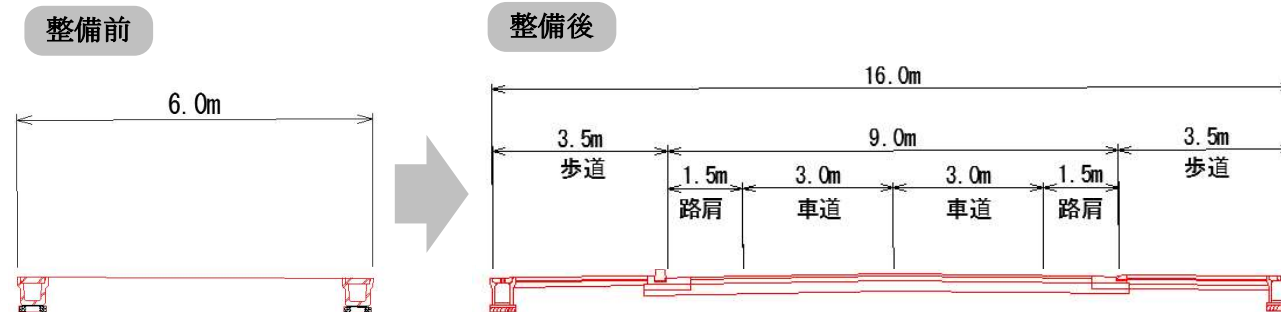


現地写真 (①)

※又吉2丁目交差点から撮影



都市計画道路橋詰又吉線 整備箇所



「これってステップ?！」 楽しく歩いて健康づくりを広げます

予算額 650万1千円【継続】

市民が楽しみながら健康づくりを実践できる「まち」をつくります。

地方創生 健幸ウォーカブル事業（3か年計画の最終年）

- ・「歩くことを通した健康づくり」を習慣化するため、小学校区毎のウォーキングマップを作成し、活用を進めます。
- ・「楽しく身体を動かす」アイデアを市内に広めます。また、その担い手となるボランティアを育成します。



これってステップ?！フェスタ
「みんなで盆踊り」開催時の様子



歩くと楽しい
スポット

市民の皆さんの情報から、ヤギがたくさんいました。

ポイント1 小学校区毎のウォーキングマップを全戸配布

- ・小学校区毎に、楽しく歩けるポイント（ヤギがいるなど）を市民から募り、マッピングしたウォーキングマップを作成し、全戸配布するとともに、「あいち健康プラス」アプリにウォーキングマップを掲載し、活用します。
- ・ウォーキングマップを活用し、様々なイベントをコミュニティ連絡協議会と連携して行います。

ポイント2 活動を継続するための組織化

「楽しく身体を動かす」アイデアを広めるボランティアを醸成し、ウォーカブル事業が地域に引き継がれ、地域が主体的に行う健康づくりをサポートします。

スポーツ施設を整備し、 快適なスポーツ環境をつくります ～スポーツ施設整備事業～

予算額 6,784万3千円【新規】

生涯を通じて気軽にスポーツに親しむことができるよう、葉蒔スポーツの家（体育館）や生涯学習センターのスポーツ施設にて快適なスポーツ環境を整備し、生涯スポーツの推進を図ります。

○ 葉蒔スポーツの家及び生涯学習センタースポットエアコン整備事業 2,524万5千円

葉蒔スポーツの家や生涯学習センターにおいて、夏の暑い時期でも安心してスポーツを楽しんでいただくことができるように壁掛けタイプのスポットエアコンを整備します。

○ 生涯学習センター屋外運動場改修事業 2,273万2千円

○ 生涯学習センター庭球場オムニコート全面改修事業 1,986万6千円

生涯学習センターの屋外運動場や庭球場（オムニコート）を快適に利用できるように全面的な改修を実施します。

<生涯学習センター>



(屋外運動場)



(庭球場)



(体育室)



<葉蒔スポーツの家>

スポーツを楽しめる環境の充実を 図るため、スポーツ推進計画を策定します ～スポーツ振興に必要な施設の再整備～

予算額 946万円【拡充】

市民が主役となるスポーツの振興を図るため、市民やスポーツに係る関係者・関係団体のニーズを把握し、気軽に健康づくりや体力づくり、競技スポーツの技術向上に繋がるスポーツ推進計画を策定します。

また、課題を抽出し、解決策を整理することにより今後の東公園一帯の再整備に伴うスポーツ施設整備方針等の検討を進めます。

スポーツ推進計画の策定や東公園一帯再整備事業は、令和6年4月設置の東公園整備推進室において行います。

○ スポーツ推進計画策定事業 546万7千円

スポーツ推進計画策定の期間は、令和5年度及び6年度とし、その計画策定の中でスポーツ施設整備方針の検討を進めます。

○ 東公園一帯再整備事業 399万3千円

スポーツ施設整備、特に東公園一帯整備に関する業務を戦略的に推進するためのアドバイザーに関する委託や、施設整備後を見据えたスポーツ施策の方向性、今後のスポーツ観光、施設の機能面等に関するコンサルティングの委託を行います。

スポーツ施設整備推進アドバイザー委託料 348万7千円

スポーツによるまちづくり施策に関するコンサルティング委託料 50万6千円



水槽付きポンプ自動車・高規格救急車を更新し、市民の安全を守ります！

予算額 1億995万3千円【新規】

配備から17年が経過する水槽付きポンプ自動車（タンク車）を更新します。タンク車は、水を積載しており火災のとき、火災現場の直近に部署し、活動する重要な車両です。

なお、緊急消防援助隊の消火隊として新規登録予定で、国内の大規模災害にも出動する車両となります。

また、配備から9年が経過する高規格救急車も更新いたします。救急出動件数は、毎年増加しております。新たな高規格救急車の活用で、市民が安心して暮らせるようになります。

○ 水槽付きポンプ自動車の車両装備、積載資機材 7,500万4千円

車両装備装置 C A F S（圧縮空気泡消火装置）、照明装置

一般救助資機材 三連はしご、油圧救助器具

特殊資機材 簡易画像探査機（火災で逃げ遅れた人を発見する資機材）

○ 高規格救急車の車両装備、積載資機材 3,494万9千円

車両装備装置 飛沫感染防止用隔壁扉

救急資機材 自動心臓マッサージ器、心電図モニター

○ その他

水槽付きポンプ自動車は、緊急消防援助隊に新規登録予定



【現在の水槽付きポンプ自動車】

定住人口創出のためマイホームを新築した方や、リフォームする方に補助金を交付します！

予算額 1,070万円【新規】

立地適正化計画における居住誘導区域（旧津島エリア）、地区計画（神守、唐臼）及び市内16箇所の団地内（※1）に新築住宅を取得した方に補助を行います。さらに、居住誘導区域内（旧津島、神守、唐臼エリア）で中古住宅を取得もしくはDIY型賃借（※2）後リフォームする方に補助を行います。

○定住促進事業 1,070万円

- ・リフォームされる方に対し最大で150万円から170万円の補助を行います。市内業者が施工した場合や空家を取得した方に対しての加算額があります。

➔市内業者が施工した場合 最大で30万円

（内訳）・中古住宅取得分	150万円×6件	900万円
・中古住宅賃借分	170万円×1件	170万円

※1 市内16箇所の団地は、

神守、葉苺、青塚、宇治、みずほ、江南、百島永宝、さかえ、上春日台、下春日台、東愛宕、喜多神（蛭間、宇治）、下切、みどり台、こがね

※2 DIY型賃借とは、借主の意向を反映して住宅の改修を行うことができる賃貸借契約やその物件のことを指します。

（国土交通省がトブック参照）

新しい定住促進事業 居住誘導区域（旧津島エリア）に新築住宅を取得した方

令和6年4月1日～令和9年1月1日までに住宅を取得した方が対象

（基本額）固定資産税（土地・家屋）100%補助 3年間 各々上限10万円 計60万円

- ※1回のみ 近居／同居 +50万円
 子（中学生以下）と同居
 1人あたり +10万円
 2階建て +10万円
 長期優良住宅+10万円

補助額最大 **200万円**

※子が2人とした場合

※住宅取得時50歳未満

さらに 空家取得で解体される場合、最大で+50万円の補助を行う



神守町下町地区に防災公園を整備します

予算額 6,700万円【継続】

神守下町地区において、大規模震災が発生した場合に、市民の一時避難場所となる防災公園を整備します。

○ 神守下町公園整備工事 6,700万円

神守下町公園及び周辺道路等の整備工事を行います。

(令和6年度 地盤改良、一部盛土、排水工事)

<概要>

敷地面積 2,208 m²

施設 かまどベンチ、マンホールトイレ、防災あずまや、
防災倉庫、水飲み場、ソーラー照明等

収容人数 890人(予定)

<参考>

神守上町公園 (令和6年3月供用開始予定)

敷地面積 2,605 m²、収容人数 1,170人

神守中町公園 (令和6年3月供用開始予定)

敷地面積 1,835 m²、収容人数 770人



神守下町公園 整備箇所



※神守上町公園

(参考) 完成イメージ図

天王川公園が より一層魅力的な公園に生まれ変わります ～天王川公園整備事業～

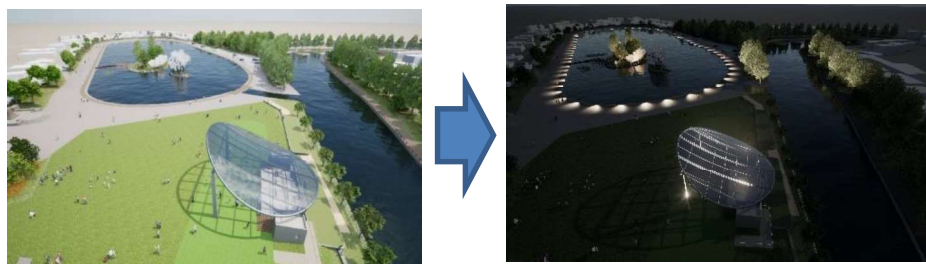
予算額 4億, 5178万9千円【新規・拡充】

市民の憩いの場である天王川公園がより魅力的になるように、夜間照明の整備、トイレの大規模修繕、下水道管の整備等を行います。

○夜間照明整備（ライトアップ大作戦） 1億200万円 【新規】



ライトアップイメージ（ステージ）



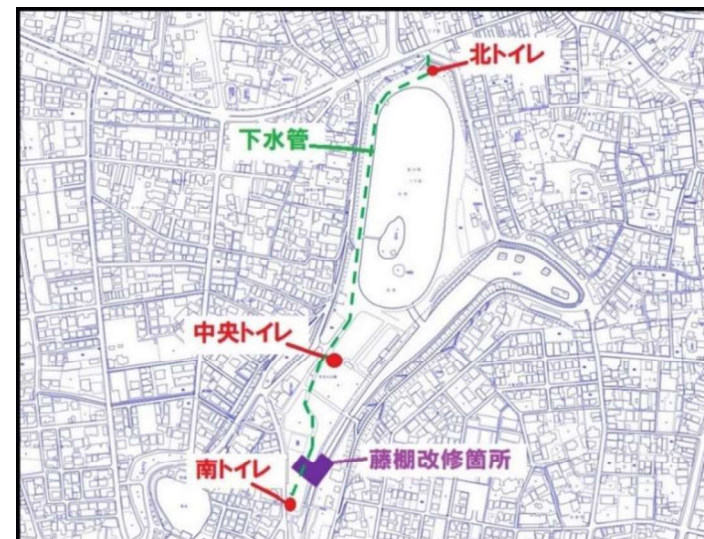
ライトアップイメージ（全体）

○天王川公園施設改修工事 2億4,878万9千円【拡充】

（トイレ改修16基、下水管布設500m、芝生整備1,265㎡、
擬木フェンス180m整備等）

○藤棚改修工事（令和5年度繰越事業） 1億100万円

・藤棚改修工事 A=約600㎡（全体整備予定面積 約3,756㎡）
（令和6年度末進捗率 64.4%、令和8年度完成予定）



婚活イベント

「天王祭 de ご縁結び」を開催します

イ

予算額 127万5千円【新規】

お祭り好きなどの共通の趣味で交流を深める出会いの機会となるよう、尾張津島天王祭宵祭を観覧しながら、津島市の魅力を知っていただく婚活イベント「天王祭 de ご縁結び」を開催します。

天王祭 de ご縁結び概要（予定）

<開催日>

令和6年7月27日（土）尾張津島天王祭宵祭開催日

<対象者>

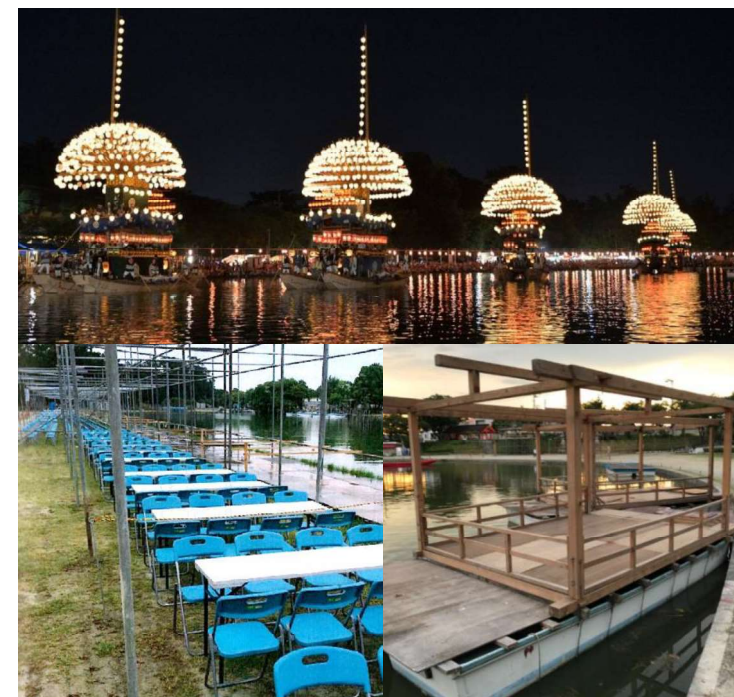
愛知県内在住または在勤の独身者

<定員>

40名程度

<参加費>

飲食代として3,000円程度



天王祭観光テーブル席・観覧船の使用（イメージ）を想定

津島市子どもの学習・生活支援事業

～無料で学習の場を提供・支援します～

予算額 246万1千円【新規】

貧困の連鎖を防ぐため、経済的に困窮する世帯の子どもに学習する場の提供と学習の支援を目的に、子どもの学習・生活支援事業を実施します。

○ 対象世帯

生活保護世帯、就学援助受給世帯等、経済的に困窮する世帯の小中学生

○ 費用

無料

ただし、レクリエーションの費用は一部自己負担あり

○ 開催日時

週1回、2時間程を予定

○ 開催場所

津島市南文化センター

○ 実施内容

・少人数クラスで勉強をお手伝い

学校の宿題等を持参して勉強で分からないことを学習支援の専門スタッフが対応し、少人数クラスによる丁寧な支援を実施します。

・進路相談

高校受験等で進路に悩んでいる子ども達の相談に応じて、奨学金等の情報提供を行います。



市内全中学校に校内教育支援センター 「ほっとルーム」を設置します

予算額 184万1千円【拡充】

不登校の生徒が自分に合ったペースで学習・生活できる環境を整えるため、市内全中学校に校内教育支援センター「ほっとルーム」を設置します。

○校内教育支援センター「ほっとルーム」とは

学校へ行くことはできるが、教室に入ることが難しい生徒の居場所になるとともに、一人ひとりのニーズに合った教育を受ける場として 学校内に設置された場所のこと。

○校内教育支援センター（ほっとルーム）設置状況

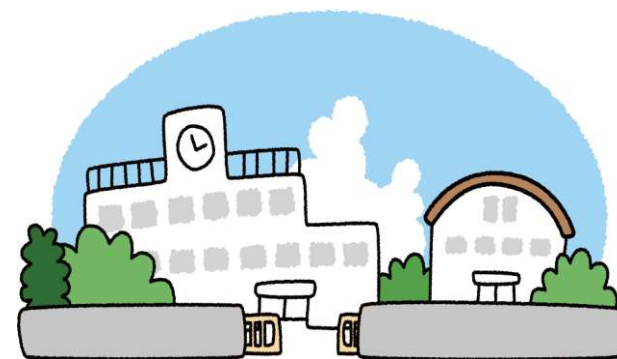
令和4年度 神守中学校に設置

令和5年度 藤浪中学校に設置

令和6年度 天王中学校、暁中学校に設置（新規）

★市内全中学校に教育支援センター（ほっとルーム）設置

※ 津島市には学校への復帰や社会的自立のための支援を行う教育支援センターが2か所(生涯学習センター内・児童科学館内) あります。児童生徒の学びの場や安心して過ごすことができる居場所となるよう個別学習や相談などを行っています。



就学援助（小学校・中学校）の 拡充を実施します

予算額 2, 264万9千円【拡充】

経済的な理由で教育費の支出にお困りのご家庭を援助するため、就学援助の認定基準を緩和し、援助項目に校外活動費（宿泊をとまなうもの、宿泊をとまなわないもの）を加え、就学支援の充実を図ります。

就学援助事業費

【小学校】 928万8千円

【中学校】 1, 336万1千円

就学援助とは

経済的な理由によって就学困難な児童生徒又は就学予定者の保護者に対し、小中学校に関する費用の一部について援助することにより、義務教育の円滑な実施をはかるもの。



○認定基準の緩和

〔認定基準〕

生活保護基準の1.0倍→1.3倍へ

※生活保護基準は平成25年旧基準

○援助項目の追加

〔援助項目〕

- ・新入学学用品費・通学用品費（入学準備金）
- ・学用品費・通学用品費
- ・修学旅行費
- ・校外活動費（今回新たに追加）
- ・学校給食費

※令和6年度は給食費無償化事業実施

小中学校屋内運動場長寿命化事業等を実施します

予算額 1億7,674万8千円【新規】

児童生徒が安心・安全に快適な環境で学校生活が送れるよう、平成30年度に策定しました長寿命化計画に基づき蛭間小学校、神守中学校屋内運動場改修工事に引き続き、神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事、高台寺小学校の屋内運動場長寿命化改修工事実施設計、天王中学校駐輪場新築工事をを行います。

○神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事 (1億3,137万3千円)

- (1) 工事内容 (施工面積 1,022 m²)
外壁改修、屋根改修、防水対策、アスベスト除去
鋼製建具塗替、木建具交換、床・壁改修
- (2) 工事期間
令和6年6月から令和7年1月 (予定)

○天王中学校駐輪場新築工事 (3,537万6千円)

- (1) 工事内容
駐輪場新設 (150台)
- (2) 工事期間
令和6年6月から令和6年9月まで (予定)



○高台寺小学校屋内運動場長寿命化改修工事実施設計 (999万9千円)

- (1) 設計内容
屋根・外壁の防水塗装等の改修
屋内改修、放送設備・舞台設備更新等
- (2) 設計期間
令和6年6月から令和7年3月 (予定)



神島田小学校



高台寺小学校

正面玄関にふさわしい津島駅東口の駅前広場の整備を行っていきます

予算額 4億3,340万円【継続】

暮らしの質が高まる正面玄関に向けた「津島 Next・Move!」で行う様々な事業に併せ、津島駅の環境整備として名鉄津島駅東側の駅前広場拡張の用地購入費用等のほか、送迎車両用ロータリーや駅前の環境改善としての公衆用トイレ等の実施設計を行います。

当市の正面玄関にふさわしい都市環境の創出に向けては、令和5年3月31日に締結した「津島市と名古屋鉄道株式会社と独立行政法人都市再生機構とのまちづくりに関する包括連携協定」に基づき、三者共同して協議等を進め、今後、市民の皆様には津島駅の将来像をお示ししていきます。

○ 津島駅東側駅前広場整備事業 【担当：都市整備課】

- ・ 用地購入費（5筆、A=948.18m²）
物件移転補償費（建物1棟） 4億2,342万円
- ・ 駅前広場実施設計業務委託 998万円

【関連】暮らしの質が高まる正面玄関に向けた「津島 Next Move!」事業

【担当：都市計画課マスタープラン推進室】

- ・【都市核】津島駅東側用途地域変更図書作成委託料等（2事業分）

包括協定締結後の津島駅東側の取組

- 令和4年度：物件調査、用地測量、名鉄との計画協議、社会実験（2回目）等々
- 令和5年度：物件調査（繰越）、用地交渉、名鉄との設計協議等、社会実験（3回目）



【航空写真】

大規模災害時に備え市内の小中学校に 耐震性貯水槽の設置を着実に進めています

予算額 3億2,968万4千円【継続】

元日に発生した令和6年能登半島地震においても、水の確保は深刻な問題となりました。津島市では、震災後においても一定の水を確保するため、市内小中学校への耐震性貯水槽（40 t）の設置を計画的に進めています。これまでに神島田小学校、高台寺小学校、蛭間小学校の3か所に耐震性貯水槽を設置しました。

さらに、令和6年度には、南小学校と神守小学校の2校で設置工事を実施します。また、令和7年度以降の東小学校、西小学校への設置に向けた実施設計を行います。

耐震性貯水槽整備事業 3億1,974万円

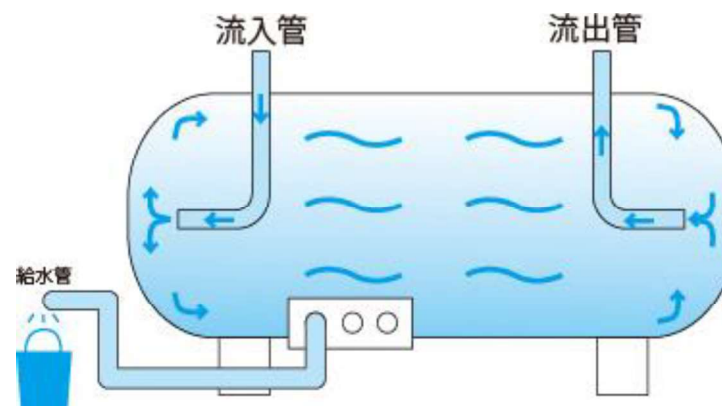
令和6年度は南小学校・神守小学校の2校に貯水槽を設置します。

耐震性貯水槽実施設計事業 994万4千円

令和7年度以降の設置に向け、東小学校・西小学校の実施設計を行います。

〈参考〉

市が設置する耐震性貯水槽は、水道水が絶えず循環する構造なので、災害時でも新鮮な飲料水が提供できます。



エフエムななみを活用して いち早く防災情報を届けます

予算額 4,417万6千円【新規】

災害時にいち早く防災情報を入手し、迅速に行動することは大変重要です。津島市では、エフエムななみ（注）の緊急割込放送を活用することで、市内であればどこにいても、ラジオから災害情報を取得できる環境を整備します。

また、災害時に防災情報を入手しづらい障がい者や75歳以上の高齢者などのうち希望される方に対しては、専用の防災ラジオを無償で貸与します。

防災無線整備事業 4,417万6千円

- ・エフエムななみの放送局内に割込放送環境を構築
- ・どなたでもJアラートや警報情報を自宅や車のラジオで聴取可能
- ・自動起動する専用の防災ラジオを無償貸与（障がい者や75歳以上の高齢者などのうち希望される方）

〈参考〉

防災ラジオは、割込信号を受信すると自動的に電源が入り、防災情報が流れます。

（注）エフエムななみとは、海部地域にお住いの方々への災害時の情報伝達手段として、地元7自治体と西尾張シーエーティーヴィ株式会社が共同で開設したコミュニティFM放送局です。平時は地域情報をお届けし、災害発生時には避難情報などをお伝えします。



住宅耐震改修費等の補助金を拡充します！

予算額 1,720万円【拡充】

能登半島地震では、倒壊した家屋の下敷きになった犠牲者が9割を占めることが判明しました。当市においても南海トラフ巨大地震で大きな被害が想定されており、地震から身を守るために、民間木造住宅耐震改修費補助金を従来1件当たり 100万円から **150万円**に増額しました。

○耐震事業費 1,720万円

耐震性が不足している住宅の改修、除却及び倒壊の恐れがあるブロック塀等を撤去する場合について補助金を交付します。

(内訳)・耐震改修費補助金	10件	150万円×10件	1,500万円
・耐震除却費補助金	6件	20万円×6件	120万円
・ブロック塀除去費補助金	10件	10万円×10件	100万円

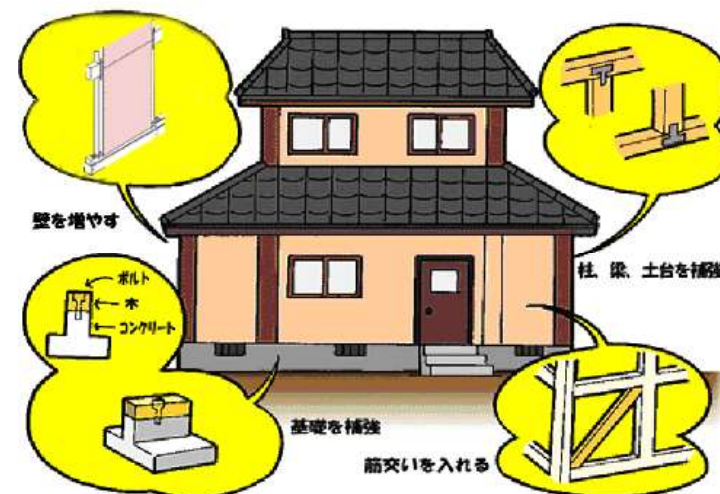
主たる補助要件

○民間木造住宅耐震改修費補助金、民間木造住宅除却費補助金

- ・昭和56年5月31日以前に建築（着工）された住宅。
- ・市が実施する無料耐震診断等において、耐震性が不足したものであること。

○ブロック塀等撤去費補助金

- ・ブロック塀等の高さが道路から1メートル以上であるもの。
- ・道路に面し、その境界から2メートル以内に設置され、倒壊の恐れがあるブロック塀等であること。



空家を解体される方に 最大50万円 補助を拡充します!

予算額 500万円【拡充】

○空家解体促進費補助金 500万円

不良住宅と判定された空家所有者の方に1件あたり最大で20万円から**50万円**に増額しました。

(主な条件)

- ・ 1年以上居住その他の使用がされていないこと
- ・ 延床面積の2分の1以上が居住用であること
- ・ 長屋・共同住宅の場合は、全ての住戸が空家であること
- ・ 木造及び鉄骨造であること



障がいのある方の生活を支援するために 基幹相談支援センター事業を設置します

予算額 1, 320万円【新規】

障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、ご本人や家族、関係者などの相談をワンストップで対応し、どのような支援が必要なのかを一緒に考えていく機関です。また、地域の相談支援体制の充実にも取り組んでいきます。

○ 事業内容

・ 総合的・専門的な相談支援の実施

暮らしのこと、家族のこと、仕事のこと、経済的なこと、将来のことなどいろいろな相談に対応します。

・ 権利擁護・虐待の防止

障がいのために判断能力が不十分であったり、自分の意思を上手く伝えられない方に対し、適切な制度の利用を支援します。また、虐待防止センターと連携し、虐待防止と早期解決に取り組めます。

・ 地域移行・地域定着の促進の取組

入院・入所している方が地域で安心して暮らせるように、退院・退所後の生活を支える地域づくりを行います。

・ 地域の相談支援体制の強化の取組

相談支援事業者の人材育成や障がいのある方をチームで支援するための関係づくりなどを行います。

○ 設置場所

総合保健福祉センター（津島市上之町1丁目60番地）

○ 設置日

令和6年4月

